

保健センターの取組について

がん検診事業（胃がん検診）【拡充】

平成28年度（2016年度）の国のがん検診に関する指針の改正により、追加された胃内視鏡検査を導入し、胃がんの早期発見・早期治療により死亡の減少を図るものです。

1 事業概要

受診希望者は胃エックス線検査または、胃内視鏡検査のいずれかを選択して受診

| | 現行 | 拡充分 |
|-------------|------------------------|--------------------------|
| 検診方法 | 胃エックス線検査 | 胃内視鏡検査 |
| 対象年齢 | 満35歳以上 | 満50歳以上 |
| 検診間隔 | 年1回 | 2年に1回 (翌年の胃がん検診受診は不可) |
| 実施方式 委託先 | 集団検診 大阪がん循環器病予防センター | 個別検診 吹田市医師会（約20医療機関） |
| 自己負担額* | 1,000円 | 2,000円 |

*自己負担額は65歳以上の方、64歳以下で吹田市国民健康保険に加入の方、市民税非課税世帯、生活保護世帯は支払を免除

2 事業開始時期

令和2年1月6日（月）

3 令和2年度以降の変更点

(1) 胃がん検診の対象年齢を50歳以上に統一

国のがん検診に関する指針に基づき、エックス線検査の対象年齢を令和2年4月から満50歳以上に変更。

(2) ペプシノゲン胃検診の廃止

胃内視鏡検査の導入により、胃がん検診の精度向上および受け皿の充実が図られること、本検診の受診者数が平成12年度の開始以降、半分以上に減少していることからその役割は一定終えたものと判断し、令和2年3月末で廃止。

産婦歯科健康診査事業【新規】

現在、妊娠中に1回無料で歯科健診を受けることができる妊婦歯科健診事業を実施していますが、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の構築の一環として、新たに産婦（産後1年未満）に対しても1回、無料で歯科健診を実施し、産婦及び産婦の子どもの歯科口腔保健の推進を図ります。

1 対象者

吹田市に在住する出産後1年以内の産婦

（今年度は平成30年10月1日以降に生まれた子の母親で、出産後1年以内の産婦も対象とする）

2 実施方法

吹田市歯科医師会へ委託（個別健診）

3 実施内容

問診、口腔内健診、歯周病健診、歯面清掃及び歯科保健指導

合わせて、産婦の子どもの口腔状況についての問診も行い、必要に応じて歯科保健指導も実施

4 回数

1回の出産につき1回

5 事業開始時期

令和元年10月1日（火）

不妊治療費助成事業について【新規】

妊娠・出産を希望する全ての市民が不妊治療を受けやすくなるよう、府の不妊治療費助成事業の対象外となる方（夫婦の所得合計が730万円以上）に対して、本市独自の助成を行います。

1 事業概要

不妊治療を受ける方の経済的負担を軽減するため、大阪府では特定不妊治療費の助成事業「不妊に悩む方への特定治療支援事業」を実施していますが、助成の対象は、夫婦合算の所得が730万円未満の方に限られています。そこで、所得制限により府の支援事業の対象外となる方に対し、本市独自で費用助成を行うものです。

2 不妊治療費助成制度の内容

(1) 対象となる治療

特定不妊治療（体外受精又は顕微授精）

※特定不妊治療は健康保険適用外であり、概算費用は1回20万円～80万円

(2) 助成要件等

府事業の所得要件を超える者（夫婦所得合計が730万円以上）で、治療日から申請日までの期間、吹田市の住民登録がある者

※その他の助成要件や助成回数は、府事業に準じて実施。

(3) 助成額

府事業の助成額の2/3を本市助成額の上限として、特定不妊治療費の自己負担額を助成します。

本市助成額：1回目 上限200,000円、2回目以降 上限100,000円

3 事業開始時期

令和元年10月1日（火）

※同日以降に行った不妊治療を助成対象とし、申請受付は令和2年1月から開始。

【参考】大阪府不妊に悩む方への特定治療支援事業

対 象：夫妻の合計所得額730万円未満

助成額：①1回目30万円、2回目以降15万円

②夫も併せて不妊治療手術施行した場合は以下の額を追加助成
1回目30万円、2回目以降15万円

助成回数：治療開始日の妻の年齢40歳未満 6回

治療開始日の妻の年齢40歳以上 3回

*対象は治療開始時点で妻が43歳未満

高齢者フレイル等予防推進事業の実施について【新規】 (高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施)

健康寿命の延伸のためにフレイル対策が重要とされている中、本市では昨年からは福祉部高齢福祉室、健康医療部国民健康保険室、保健センターが高齢者の支援のあり方について協議を進めてきました。この度、国のモデル事業である「高齢者の低栄養防止・重症化予防等の推進」の補助金を活用し、保健事業と介護予防を一体的に実施し総合的なフレイル予防を進めるもので

1 事業概要

健康寿命の延伸を図り、持続可能な介護保険制度等の構築を目指して、効果的に介護予防を進めるために、高齢者の医療・介護等の情報を一括把握し地域の健康課題や要介護の要因を整理、分析します。また、「フレイル」※1状態にある高齢者等を早期に把握し、効果的な保健指導を実施します。

※1「フレイル」とは、年齢とともに心身の活力(筋力や認知機能など)が低下して、要介護状態に近づくこと。対策をとれば、健康な状態に戻ることも可能。

2 実施内容

- (1) 医療・介護情報等の一体的な分析、データ活用等
吹田市全体・地域ごとの健康状況、要介護状態に陥る要因の分析等の実施
 - (2) 低栄養スクリーニングツール等の開発
高齢者自身が食生活を振り返り、低栄養のリスクを確認することができるスクリーニングツール(質問票)の開発
 - (3) 管理栄養士による保健指導
低栄養スクリーニングツールを使用し、低栄養について個別指導が必要と判定された方に対し介護予防教室や住民主体の通いの場などを利用した個別指導を実施
- * (1)(2)は大阪大学との共同研究

3 実施体制

本事業は高齢福祉室、国民健康保険室、保健センターが連携・協力して実施します。

4 スケジュール

令和元年10月～ スクリーニングツール等の開発、情報・データ分析、課題整理
令和元年11月～翌年3月 管理栄養士による保健指導
令和2年度 スクリーニングツールによる対象者抽出と管理栄養士による保健指導等

高齢者の低栄養防止・重症化予防等の推進 （介護予防との一体的な実施の先行的取組）

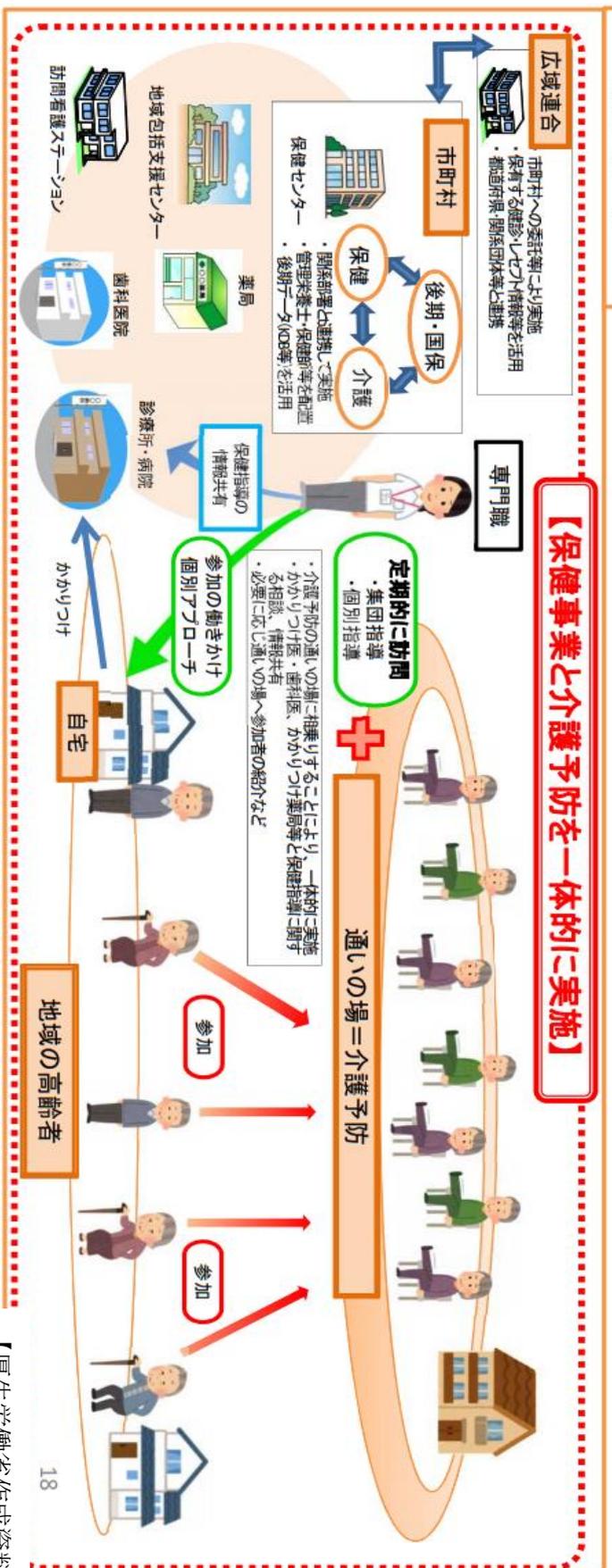
平成31年度予算案 6.1億円
（平成30年度予算額：3.6億円）

概要

- 低栄養、筋量低下等による心身機能の低下の予防、生活習慣病等の重症化予防のため、高齢者の特性を踏まえた保健指導等を実施。
 - 後期高齢者医療広域連合において、市町村への委託等を通じ、地域の実情に応じて、地域包括支援センター、保健センター、訪問看護ステーション、薬局等を活用し、課題に応じた専門職（管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、保健師等）が、対応の必要性が高い後期高齢者に対して相談や訪問指導等を実施。
- 〔例〕
- ・ 低栄養、過体重に対する栄養相談・指導
 - ・ 摂食等の口腔機能低下に関する相談・指導
 - ・ 外出困難者への訪問歯科健診
 - ・ 複数受診等により服用する薬が多い場合における服薬相談・指導 等
- 高齢者の通いの場を中心とした介護予防と上記保健事業の市町村における一体的な実施を先行的に取り組む。
- ※ 経済財政運営と改革の基本方針2018
高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病の疾病予防・重症化予防、就労・社会参加支援を都道府県と連携しつつ市町村が一体的に実施する仕組みを検討するとともに、インセンティブを活用することにより、健康寿命の地域間格差を解消することを目指す。

事業イメージ

【保健事業と介護予防を一体的に実施】



おおさか健活マイレージ事業及び健康づくり支援事業【新規】

大阪府は、令和元年10月から個人インセンティブを活用した主体的な健康づくりを推進するため、府内43市町村を対象としておおさか健活マイレージ「アスマイル」を開始しました。アスマイルの開始に伴い、本市の健康ポイント事業を総合的にリニューアルし、市民の主体的な健康づくりへの取組を支援しています。

<おおさか健活マイレージ「アスマイル」(府事業)>

1 対象者

大阪府在住の18歳以上の方（大阪府内の市町村に住民登録がある方）

2 参加方法

スマートフォン用のアプリのダウンロード、または専用の歩数計の2種類

ア スマートフォンをお持ちの方

アスマイルアプリをダウンロードし、参加登録を行う。健康活動によりポイントがたまります。

イ スマートフォンをお持ちでない方

専用の歩数計（有料）を購入し、専用リーダーにかざすと歩数が記録されポイントがたまります。

*専用リーダーは、総合福祉会館1階のほかローソン（Loppi 端末）に設置。

*歩数計のみでの参加は取得できるポイント項目に制限があります。

*本市では、歩数計購入費の一部を助成（健康づくり支援事業）

3 健康活動

アスマイルを始める：500ポイント（初回のみ）、 歩く：300ポイント（毎日1回）

がん検診や人間ドックなどの各種健（検）診を受ける：1,000ポイント（年1回）

イベントに参加する：100・500ポイント（随時）、

歯を磨く：50ポイント（毎日1回）、健康コラムを読む：50ポイント など

4 抽選

週トク抽選：コンビニでのコーヒー等の交換クーポン（1,000ポイント以上/週）

月トク抽選：電子マネーやQOAカード等と交換（5,000ポイント以上/月）

*40歳以上の国保加入者限定：特定健診受診で3,000円相当の電子マネー等を必ずプレゼント

5 本市市民のアスマイル登録者数

12月12日現在 吹田市民；2,015人（男：888人、女：1,127人）

うち国保加入者：419人（男：166人、女253人）